

ふるさとふくしま応援寄附金の実績と活用状況のご報告

〔知事ごあいさつ〕



現在、福島県では、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の3つを県政の柱とし、各種施策を積極的に推進しております。

昨年度皆様からいただいた貴重なご寄附は、更に魅力溢れる「ふるさと・ふくしま」の実現に向け、尾瀬や猪苗代湖の美しい自然環境の保全や、おいしい果物、お米など県産品の販路拡大、さらには、子育て支援などに活用させていただきました。

これからも、本県が持つ強みや特色を最大限に生かし、豊かで活力ある力強い県づくりに向け、邁進してまいりたいと考えておりますので、「ふるさと・ふくしま」を末永く御支援くださるようお願い申し上げます。

福島県知事 佐藤 雄平

1 寄附金の実績

平成20年度に「ふるさとふくしま応援寄附金（ふるさと納税）」として、47件、1,547,800円のご寄附をいただきました。改めて感謝申し上げます。

なお、お申込時に希望された寄附金の「使いみち」の内訳は下の表のとおりです。

項目	件数	金額(円)
自然環境の保全	11	118,000
次世代育成支援	2	15,000
本県の活力増進	10	260,000
その他(おまかせ)	24	1,154,800
合計	47	1,547,800

2 寄附金の活用状況

下記の事業に活用させていただきました。さらなる有効な利用を考えてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

○自然環境の保全

・「みんなの尾瀬」ふれあい推進事業

新たに誕生した「尾瀬国立公園」について、傑出した自然環境や自然保護の歴史を広くアピールするとともに、その保護と適正な利用を図るため、環境教育やニホンジカによる食害対策等を実施しました。



・みんなで守る美しい猪苗代湖推進事業

猪苗代湖の水質汚濁が懸念されていることから、ボランティア等県民の参加を得ながら、ヨシ群落等水辺環境の保全を図るとともに、詳細な水質調査を実施しました。



○次世代育成支援

・子育て支援を進める県民運動事業

社会全体で子育てを支援・応援する気運を醸成するため、子育て支援団体と行政からなる子育て支援連絡会議を県内7方部に設立、主に子育て支援団体等の連携を図る会議を開催して、「子育ての日」、「子育て週間」にちなんだシンボル行事及び各方部行事等の活動に対する支援を行いました。



○本県の活力増進

・ふくしま定住・二地域居住推進総合戦略事業

定住・二地域居住人口の拡大を図るため、「ふくしまふるさと暮らし推進協議会」等により、市町村及び民間団体等などと連携しながら受入体制を整備するとともに、田舎暮らしの専門誌への掲載、ふくしま大交流フェア、ふくしまファンクラブ等でのPR・情報提供を行い、定住・二地域居住先としての福島県の周知を図りました。また、東京銀座に設置した「ふくしまふるさと暮らし情報センター」において、相談やセミナーを開催し、首都圏の移住希望者の福島県への誘導を図りました。



・首都圏アンテナショップ事業

県産品の情報の受・発信と流通拡大を図るため、首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」の運営とキャンペーン事業を実施しました。特に、平成20年度は、店頭プロモーションによる試食・販売を積極的に展開し、首都圏の方々に福島の特産品をPRしました。



○おまかせ

・新たな県民運動推進事業

子育てしやすい環境づくり、地域コミュニティの再生、環境問題への対応の3つを重点テーマに据え、平成20年度を初年度とする新たな県民運動を展開しました。例えば、地域コミュニティの維持・振興等のために、地域の課題に応じて、住民をはじめとした地域の様々な団体等が、地域について意見を交換し合える場として「住民による新たな県民運動円卓会議」を設置、開催できるように支援を行いました。



・ふくしま米魅力アップ推進事業

良食味で高品質な「ふくしま米」の総合的な魅力アップを図るため、首都圏における新聞全面広告やJR東京駅構内のPR電飾広告の設置、観光キャンペーン等との連携による県産米PR活動を展開しました。

